一宮西病院広報紙
アプリコット通信
vol.4
2010年11月吉日発行
発行 社会医療法人 杏嶺会(きょうりょうかい)

消化器内科部長 森 昭裕(もり あきひろ)医師が OMED RESEARCH AWARD 受賞
(世界消化器内視鏡学会 研究賞)

OMED授賞式 慶応義塾大学 矢作教授(右)とともに

OMED (世界消化器内視鏡学会)が主催するこの研究賞は毎年一回、アジア・パシフィック、ヨーロッパ、アメリカの各学会から1人ずつ消化器内視鏡分野において最も貢献した研究者におくられる権威の高い賞です。
今回、当院の消化器内科部長 森 昭裕医師が優れた研究論文を発表したことから、この名誉ある賞を受賞しました。

森医師は、授賞式後に客員教授でもある中国の蘭州第一人民医院にて講義を行うほか、中国消化器内視鏡学会に招かれ、上海で経鼻内視鏡のプレゼンテーションを行うなど、海外との交流も積極的に行っています。

苦痛の少ない経鼻内視鏡を使い、胃がんなどの発見・治療に尽力している森医師の今後の活躍に眼が離せません。

▲OMED RESEARCH AWARDの賞状です

▲マレーシア クアラルンプールの眺望

▲OMED RESEARCH AWARD
(世界消化器内視鏡学会 研究賞) 授賞式での一幕。
森医師(右)とヨーロッパ代表Dr.(左)

▲上海の長海病院

上海にて。▶
経鼻内視鏡の
プレゼンテーション中

▲授賞式数日後、蘭州第一人民医院にて。経鼻内視鏡の実演を行う森医師。中国の医師や医療従事者を前に、患者さんへ経鼻内視鏡を使った検査を行いました。医院の方が熱心に聞き入っている姿が印象的です

▲▶
ペトロナス・ツインタワーの見えるレストランにて。夜景が見事です

あんずNEWS

多くのTVでも紹介されている脳神経外科医
福島 孝徳医師の医療講演を開催

神の手を持つ男といわれる脳神経外科医 福島孝徳医師が一宮市尾西市民会館で医療講演を行います。
自身が確立させた「鍵穴手術」で多くの患者を治療し、現在も第一線で活躍している福島医師。当院で手術を行ったという縁もあり、移転一周年記念として福島医師による市民公開講座を開催いたします。

移転一周年　市民公開講座

日　時／12月4日
開　演／13:30～
講　師／福島 孝徳
場　所／一宮市尾西市民会館
演　目／脳を守ろう―21世紀の脳神経外科治療

アクセス
●バス／名鉄一宮駅バスターミナル2番乗り場
「起」「蓮池」「西中野」行き「一宮市役所 尾西庁舎行き」下車、北へ徒歩一分
●バス／iバス「尾西庁舎前」西コース・東コース　※駐車場はございません。公共の交通機関をご利用下さい。

【事前申込制】※応募多数の場合は抽選とし、当選者のみ聴講券をお送り致します。
①郵便番号　②住所　③氏名　④電話番号　⑤ご希望の人数 をご記入の上、下記宛先までお送り下さい。
11月12日(金)必着 【宛先】〒494-0001 一宮市開明1番地 一宮西病院「市民公開講座」係まで

ドクター講演記

一宮市内の各連区で、当院の医師たちが講演を行いました。
それぞれ多くの住民の方が参加し、大盛況！！
健康への関心の高さが垣間見えた講演でもありました。

2010 9/16
脳神経外科副部長 兼
脳卒中診療 科医長
青山医師

9月16日、今伊勢町公民館にて青山医師が「脳卒中について」を講演しました。講演中、自身の家庭での楽しい話題も披露し、会場は笑顔で包まれました。暖かい雰囲気の中、あっという間に講演の時間は過ぎていきました。

2010 9/24
循環器内科部長
大野医師

9月24日、開明老人憩いの家にて大野医師が「心筋梗塞で死なないために」について講演を致しました。とても嬉しいことに、この講演は大野医師の医療講演をご覧になった方々からの希望で実現しました。

2010 10/6
消化器外科部長
宮本医師

10月6日、毎年恒例となっている奥公民館　奥ふるさと学級での講演がありました。今回は宮本医師が「胆石の話と栄養面について」を講演。原因の一つでもあるコレステロール値を抑える栄養学の話に、真剣に聞き入る奥連区の皆さん。

消化器内科部長 兼
内科部長
森医師

2010 10/19

10月19日、北方町公民館にて森医師が「胃がんの現状と対策」について講演しました。今号の表紙も飾っている森医師の気さくな人柄に、講演終了後も参加者の皆さんからの質問が絶えませんでした。

杏嶺会 特報

患者さん座談会 開催

一宮西病院にて9月29日(水)、記念すべき第一回患者さん座談会が開催されました!当日は3名の方にご参加頂き、当院のレストラン マルシェで当院へのご意見をお伺い致しました。ご参加下さった皆さま、ありがとうございました！

ボランティア活動展

第22回「福祉とボランティア活動展」が一宮スポーツ文化センターにて開催され、地域包括支援センターやすらぎ(以下センター)が参加しました。この活動展は各福祉施設・団体の活動発表や啓蒙の場として開催されており、バザーや模擬店等も出され、毎年多くの方が来場されます。センターでは介護予防検診「お達者21」を使った健康チェックを行いました。

一宮西病院

〒494-0001
愛知県一宮市開明字平１番地 TEL／0586-48-0077(代)

HP検索は 一宮西病院 検索

まいにち ブログ更新中！
「あんずぶろぐ」こちらのＱＲコードでご覧頂けます。

Doctor introduction

新任ドクターの紹介

小児科
小林 貴子(こばやし たかこ)

【出身大学】埼玉医科大学
【経　　歴】埼玉医科大学
総合医療センター 小児科
【得意分野】小児科一般
【所属学会】日本小児科学会

はじめまして、10月より小児科へ配属となりました小林貴子と申します。埼玉県川越市にある埼玉医科大学総合医療センターで初期研修、小児科後期研修をやってきました。お子様やそのご家族が明るく元気に過ごせますように毎日の診療をおこなっています。気になることがありましたら、いつでも外来にいらして下さい。

内分泌・糖尿病内科
武石 宗一(たけいし そういち)

【出身大学】岐阜大学
【経　　歴】岐阜大学病院、松波総合病院
【主な資格】ICLS認定コース終了
【得意分野】糖尿病
【所属学会】日本内科学会、日本糖尿病学会

10月から一宮西病院の内分泌・糖尿病内科の後期研修医として働かせて頂きます。糖尿病、消化器、内科一般を診療させて頂きます。糖尿病は幅広い疾患のリスクファクターになりうるので、予防医学的観点からも早期発見、早期治療を心がけていきたいと思っております。患者さんの目線に立った、温かい医療を提供させて頂きたいと考えております。お気軽にご相談ください。

夜尿症「おねしょ」

お母さんも、お子さんも一人で悩まないで

夜尿症学会 理事 兼
小児科部長 廣田貴久医師

夜尿（おねしょ）は10歳でも5%はみられます。しかし他人には言えず自分だけと悩んでいる子や、恥ずかしさから劣等感を覚え、性格へ影響を及ぼすこともしばしばあります。また保護者も思わず子どもを叱り、その後悔がストレスへと発展していきます。本来なら年齢とともに、夜間は昼間に比べ尿量は減り、逆に膀胱の容量が大きくなり、尿の保持能力が増加し夜尿は消失します。しかしこの発達過程が未熟な子は夜尿が続きます。つまり夜尿症は、夜間の尿量と膀胱容量の不釣合いで発症します。
治療は、夜間の尿量が多い「多尿型」、膀胱が小さい「膀胱型」、その両方の「混合型」に分類し、その型に合わせた薬や夜尿アラームなどを用います。
夜間、定時に起こしてトイレに連れて行くことはやめて、6歳を過ぎてもご家族で悩んでいるなら、一度、ご相談下さい。夜尿症専門医が診療致します。

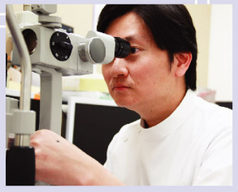
夜尿症は１年間で10%は自然に治ります。しかし治療を加えれば2～3倍は早く治り、薬での治療を行った場合、１年で約40%の子どもが治ります。

子どもが睡眠中に排尿抑制訓練を行う為のアラームです。勘違いされる方もいますが、子どもを起こす必要はありません。おむつ等の濡れを感知してアラームが鳴ります。その刺激で排尿抑制を高め、夜間の膀胱容量を増大させます。いわば『条件付け』の為の装置です。

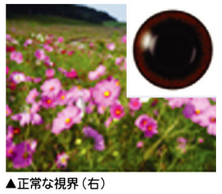
眼科探訪

専門性を追求しつつも、それにとらわれず様々な疾患の患者さんの診療を積極的に行っている眼科ドクター's。先月号では眼科部長 長木医師が登場しました。今月号では、年をとるとともにほとんどの方が発症するといわれている白内障について中村医師にお話を聞いてみました。

白内障とは、眼の中の水晶体（レンズ）が濁る病気のことをいいます。原因は老化によるものがほとんどですが、他の原因によるもの（糖尿病性、アトピー性、外傷性など）もあります。進行すると、視力低下、かすみ目、まぶしい等の症状があらわれ、日常生活に支障をきたすようになります。白内障自体は手遅れになることは少ないですが、手術により視力が回復し、患者さんの見え方の質（Quality of Vision）の向上が期待できます。



中村 幸生（なかむら さちお）医師

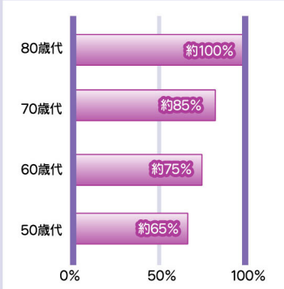


▲正常な視界（右）

▲白内障患者の視界（左）

白内障は一度発症しレンズが濁ると、薬や点眼などで元の透明性を得ることは出来ません。現在の白内障手術は完成度が非常に高くなっており、過去に比べると合併症も少なく、短時間で安全に手術を行うことができるようになりました。患者さんへの負担も少なく、術後の視力回復も早い為、早期に社会復帰することが可能です。40歳代になったら一度検診を受けることをおススメします。また視力低下、かすみ目、まぶしい等の症状でお悩みの方は眼科外来までご相談下さい。

白内障 年代別発症率



予防 ワクチンは流行する前に!!

～インフルエンザ～

12月～4月にかけて流行するインフルエンザ。今年も流行の季節がやってきました。
インフルエンザにかかる前にワクチンを接種して、健康を守りましょう。

一宮西病院 インフルエンザ ワクチン接種 実施中

	中学生以下（小児科）	高校生以上（内科）
実施期間	10月19日～	11月1日～
料　金	1回目／3,000円 2回目／2,500円 ※13歳未満は2回接種を奨励	1回目／3,000円 2回目／2,500円 ※一宮市在住で65歳以上の方は1,000円
予　約	電話もしくは1F・2Fブロック受付にて予約を受け付けいたします。 受付時間：平日（祝祭日除く）　9:00～17:00 一宮西病院（代）ＴＥＬ／0586-48-0077	
予約時間	火　曜　15:00～16:30 水～木　14:00～14:30	月　曜　15:00～15:30 火～金　14:00～15:30
	※予約は上記の時間内でおとりください。	

マスクの着用、うがい手洗いを習慣づけて、ウィルスをシャットダウンしましょう。
マスクは他の人にウィルスを移さない役割も兼ねています。
自分だけではなく、周りにいる大切な人の為にも予防を！

ESWL ～体外衝撃波結石破砕術～

※尿路結石とは…腎臓・尿管・膀胱・尿道に出来る結石(石のような塊)を総称して尿路結石といいます。つまり尿の通り道に石が出来る病気のことです。日本人男性の11人に1人は尿路結石を発症するといわれています。尿路結石は発症箇所によっては激痛を伴い、完治しても再発しやすいのが特徴です。食事の影響が大きく関わっていることがわかっており、日本では食生活の欧米化により発症する人が増加しています。

※※尿路結石には発症しても、鈍痛または痛みがない場合もあります。
そのような結石はサイレントストーンと呼ばれ、治療せずに放っておくと石が大きくなり、腎臓の機能が働かなくなる合併症を併発することがあります。30歳代になったら定期的に検診を受け、予防をしましょう。

尿路結石治療の強い味方、ＥＳＷＬが当院にお目見え。病院移転当初より導入予定だったESWLによる治療が10月20日より、開始しました。

ESWLとは、体外から音速よりも速い衝撃波を、体内の結石にあて塊を細かく砕き、尿とともに外へ排出させる治療法です。身体にメスを入れないので患者さんにとって最も負担の少ない治療法といえます。
ドイツで開発されたESWLは、1980年以降、優れた粉砕効果と負担の少なさから世界中に普及し、尿路結石治療に革命的な変化をもたらしました。
治療時間も60分と短く、開腹手術ではないので身体に傷は残りません。治療の際に多少の痛みを伴うこともありますが、その安全性は広く確認されており、現在の尿路結石治療において第一選択となる治療法です。
当院では10月20日より痛みが少ないESWLを使用した尿路結石治療を行うことができるようになりました。

リハビリあれやこれ

今年の5月より新たに365日リハビリを始めた当院。そんなリハビリテーション科をちょっとご紹介!

Q そもそもリハビリテーション科とは？

A リハビリテーション科とは、病気やケガが原因で障害が残り、家庭復帰や職場復帰に支障をきたしている患者さんに対して集中的にリハビリを行い、実生活への復帰を早期かつスムーズに行えるように手助けを行う科です。当院は治療後すぐに行う急性期リハビリだけでなく、生活の場でもある病棟での回復期リハビリにも力をいれています。

Q なぜ365日リハビリをはじめたの？

A 障害に関しては、できるだけ早い時期に集中的にリハビリを行うことが重要であるといわれています。そこで当院では、平日だけではなく日・祝日もリハビリを提供できるように十分なスタッフをそろえて、患者さんの状態に合わせたリハビリを365日提供しています。

交通事故死亡者より多い

ヒートショック

年間1万人以上の方が亡くなる原因に!?

激しい温度変化に身体がついていけず、引き起こされるのがヒートショック。ほとんどが家庭内で起こり、温度差の激しい風呂場、トイレ、洗面所は要注意！特に高齢者の方は注意しましょう。

ヒートショックとは?

温度変化が原因で急激に血圧が上下することによって、心臓や脳の血管が損傷を受け、心筋梗塞や脳梗塞などを発症すること。特に高血圧の方は影響を受けやすいので、注意が必要です。

ちょっとした工夫で助かる！予防術
基本的に気温差を無くすよう行動をすれば大丈夫。

●例えば…
- 浴室は前もって暖めておく
- 湯温はぬるめ（40℃以下）で半身浴
- 冬は室温を上げすぎない
- 出かける際は、上着をはおる　など。

また突然倒れた場合や、激しい頭痛・めまいが起きた際は素早く救急車を呼ぶ事も大切です。